国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

「世界の北海道」を目指して
―北海道総合開発計画―

平成２９年　３月３１日

平成２９年度北海道開発事業費

（網走開発建設部実施分）の概要について

平成２９年度北海道開発事業費（網走開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。

北海道開発局では、平成２９年度予算について、北海道総合開発計画（平成２８年３月２９日閣議決定）に基づき、「世界の北海道」のキャッチフレーズの下、主要施策を推進するための社会資本整備、国際競争力の強化等を重点事項として実施します。

また、平成２８年８月に相次いで上陸・接近した台風により、北海道に甚大な被害が発生したこと等から、災害に強い北海道の実現を目指すとともに、我が国の経済成長を支える北海道の戦略的産業の振興に資するストック効果の高い社会基盤の整備等を強力に推進します。

網走開発建設部においても、こうした考え方に沿って、施策・事業を進めてまいります。

【問合せ先】　国土交通省　北海道開発局　網走開発建設部
広報官　村　中　智　晴　電話　０１５２－４４－６７９３

網走開発建設部ホームページ　http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/

平成２９年度

網走開発建設部の事業概要

平成２９年３月

網走開発建設部

目　　次

Ⅰ　平成２９年度網走開発建設部事業費総括表　・・・・・・・・・・　１

Ⅱ　網走開発建設部関係事業概要（事業別）

１　治水事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

２　都市水環境整備事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

３　道路事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

４　港湾整備事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

５　農業農村整備事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

６　水産基盤整備事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

別紙

平成２９年度　網走開発建設部事業費総括表

（事業費）　　（単位：百万円）

事　　項	予　算　額	備　　考
治　　水	2,981	
道　　路	16,963	
港　湾　整　備	531	
都　市　水　環　境	176	
農　業　農　村　整　備	4,006	
水　産　基　盤　整　備	2,384	
合　　計	27,041	

注）１．農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。
　　２．四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

１　治水事業

○強靭で持続可能な国土の形成

平成２９年度は、第８期北海道総合開発計画に掲げられた「世界の北海道」を実現するため、強靭な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成に資するためのインフラ整備・老朽化対策の促進を図るほか、平成２８年８月に北海道に来襲した一連の台風により大きな被害を受けたことを踏まえ、関係機関が連携してハード・ソフト対策一体の取組を緊急的に実施すべくとりまとめた「北海道緊急治水対策プロジェクト」の推進、及び平成２７年度から推進している「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく治水対策の推進を図ります。

平成２８年８月洪水時の氾濫状況（常呂川）

平成２８年８月洪水時の農地被害状況（常呂川）

河川改修

○網走川　近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。

○常呂川　近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。

○湧別川　近年頻発する洪水被害を軽減するため、堤防の天端保護を実施し、堤防決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫します。

○渚滑川　近年頻発する洪水被害を防止軽減するため、河道の掘削を実施し、治水安全度の向上を図ります。

河道掘削の状況

天端保護の状況

河川維持修繕

安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・点検を行うとともに、既存施設が機能発揮するよう、必要な河川構造物の補修、設備の更新を行うなど、地域との連携及びコスト縮減に努めつつ、適確な河川の維持管理を実施します。

堤防除草の状況

河川工作物関連応急対策

網走湖下流の網走川において、老朽化や塩害により機能が低下している特殊堤コンクリート矢板の補修を実施します。

特殊堤コンクリート矢板補修完了の状況

堰堤維持

鹿ノ子ダムにおいて、管理用制御処理設備の改修を行うほか、施設の点検整備、観測・操作、流木処理などの維持管理を実施します。

鹿ノ子ダム

河川災害復旧等関連緊急事業

平成２８年８月台風により甚大な被害を受けた常呂川において、「北海道緊急治水対策プロジェクト」に基づいた河川災害復旧等関連緊急事業により再度災害防止を目的とした河道掘削を実施します。

河道掘削の状況

２　都市水環境整備事業

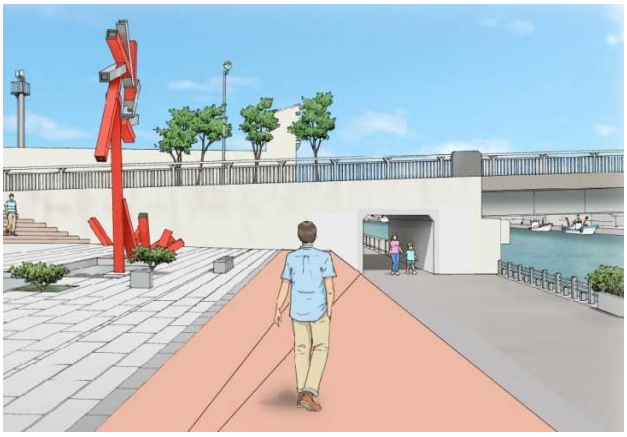
総合水系環境整備

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成をめざし、富栄養化の進行に伴う青潮やアオコの発生等によって本来の水環境が損なわれている網走湖において、「網走川水系網走川水環境改善緊急行動計画」（通称、清流ルネッサンスⅡ　平成１６年６月）に基づき関係機関及び団体と連携して水環境を改善するための各種対策を実施します。また、網走地区では「網走かわまちづくり計画」を策定し、網走市によるまちづくりと連携して、管理用道路（散策路）や取付道路等を整備することにより、網走川沿いの水辺の賑わいを創出し、地域の活性化を図ります。

○網走湖水環境整備　　網走湖の水環境を改善するため、網走湖に逆流する塩水を制御する網走川大曲堰の冬期運用を継続します。

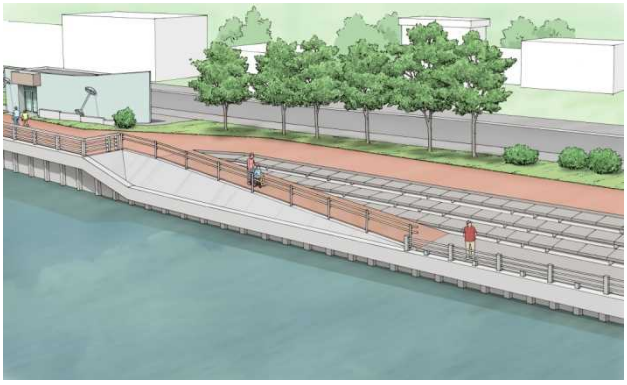
○網走地区かわまちづくり　　整備箇所の調査設計等を行うほか、引き続き地域のかわまちづくり検討会と協働し、網走市の観光振興及び活性化に向けた取組を推進します。

網走川大曲堰（鋼製起伏ゲート起立中）



河川管理用道路（ボックスカルバート）の整備イメージ

河川管理用道路（緩傾斜化）の整備イメージ



河川管理用道路（バリアフリー化）の整備イメージ

３　道路事業

平成２８年３月に閣議決定された北海道総合開発計画においては、「人が輝く地域社会の形成」、「世界に目を向けた産業の振興」及び「強靭で持続可能な国土の形成」を主要施策として推進することとしています。特に、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する分野等における成長と競争力の強化、地域社会に活力をもたらす生産空間・基礎圏域の保持・形成を図るための基盤整備を推進するとともに、社会情勢の変化の中でも生産性の向上に資する事業を推進します。

また、北海道の豊かな資源・特性を活かし、「社会のベース」の生産性向上にも資する防災・減災対策や老朽化対策等による国土強靭化を推進し、安全安心に暮らせる社会基盤の確立を図ります。

（１）人が輝く地域社会の形成

①広域分散型の地域構造を支える交通ネットワークの形成

・広域的な交流・連携の確保、生産地や観光地、空港・港湾等とのアクセス強化により、農林水産業・観光産業等の地域経済を支える高規格幹線道路等の整備を推進します。

・収穫量が全国１位のオホーツク産の玉ねぎ等の農産品は、苫小牧港等から道外へ、毎年約５１千トンが輸送されており、高規格幹線道路の整備により、輸送効率がアップし生産性の向上が期待されます。

開通予定

平成２９年度：北海道横断自動車道（足寄～北見）　陸別町小利別～訓子府ＩＣ間

北海道横断自動車道　足寄～北見
（十勝オホーツク自動車道）

旭川・紋別自動車道　丸瀬布遠軽道路

②北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進

地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の機能・役割を最大限発揮させることを目指す「協働型道路マネジメント」を推進します。

冬期の景観を確保するための住民による除雪（知床の事例）

地元住民等と協働して、歩道等を除雪することにより、観光ニーズの高い流氷観光の眺望スポットを創出。（平成２７年度　手づくり郷土賞　国土交通大臣賞（一般部門）受賞）

③世界水準の観光地の形成

・旅行者の周遊を促進するため、北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむ「ドライブ観光」を推進し、「シーニックバイウェイ北海道」では、地域が主体となり、美しい景観づくりなどに取り組み、魅力ある観光空間づくりを進めます。

シーニックデッキ（あばしりフロックス公園）

地域住民による花植活動

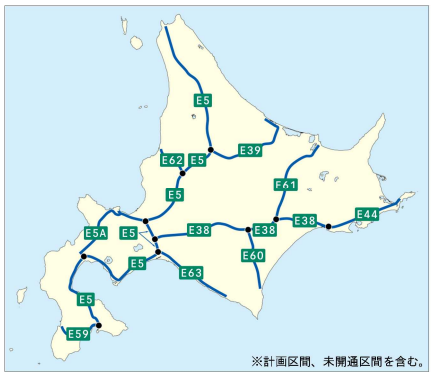
・安全で安心な外国人観光客のドライブ観光を推進するため、英語による道路情報提供や外国語パンフレットの作成・配布等ストレスフリーな環境整備を推進します。

「国道３３３号　夏タイヤ走行不可」の英語表示

エゾ鹿衝突事故マップ（英語版）

・北海道内の高速道路ネットワークで、路線名に併せて路線番号を用いて案内する「ナンバリング」を導入することで、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を行います。（平成２９年３月１９日開通の旭川･紋別自動車道　丸瀬布ＩＣ～遠軽瀬戸瀬ＩＣ間に北海道で初めてのナンバリング標識を設置）

■北海道内の高速道路ナンバリング



■ナンバリング標識の例

（２）強靭で持続可能な国土の形成

①冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細かな地域支援

・安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪作業を実施します。また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、自治体支援のため除雪機械の貸付やリエゾン注)の派遣による災害関連情報の共有等の支援体制構築について継続的に実施します。

(注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員)

除雪作業

緊急車両 搬送支援状況

リエゾン活動の状況

◆自治体への支援体制

②道路施設の老朽化対策

・点検結果に基づいた措置を計画的に実施することによりメンテナンスサイクルを推進するとともに、長寿命化を目指し適正な修繕を実施する地方自治体に対して技術支援等を実施します。

橋梁点検車による点検

トンネルの点検

③道路の防災対策

・大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化や代替性確保のための高規格幹線道路の整備を推進します。

斜面崩落防止対策

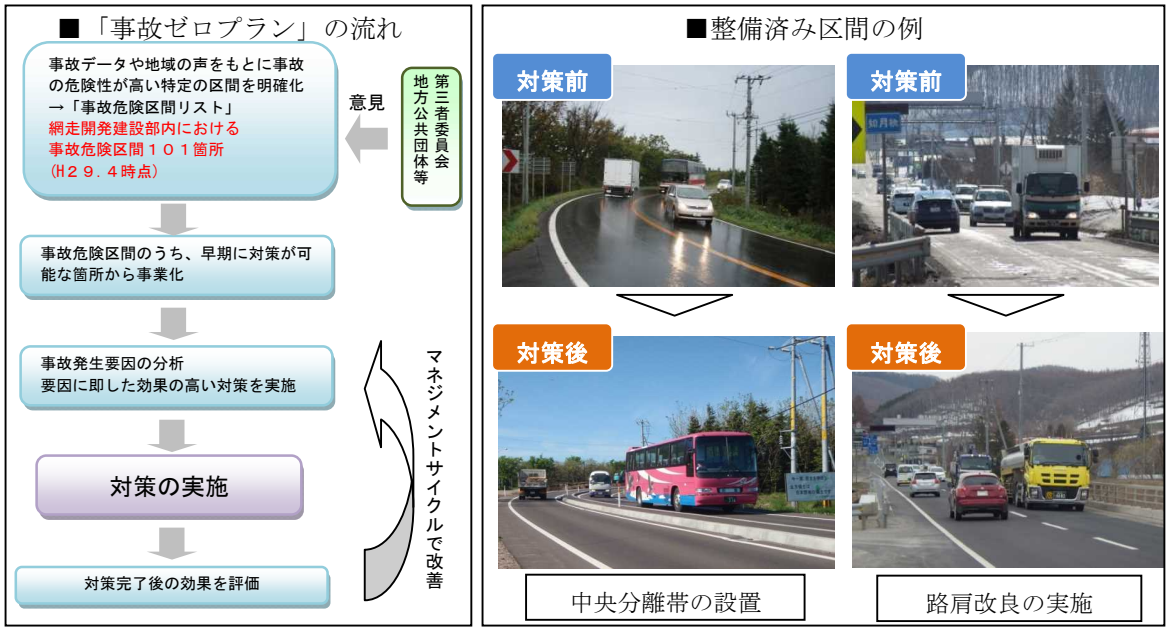
（法面対策）

災害時の迅速な支援活動を支える高規格幹線道路の整備

④交通安全対策の推進

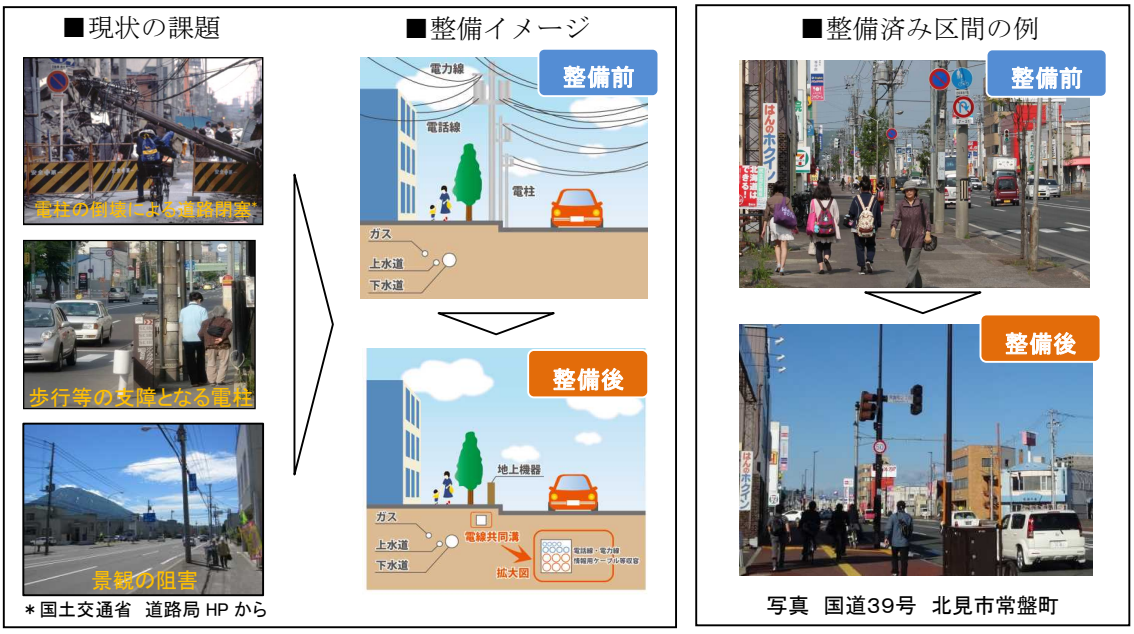
・効果的・効率的な事故対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）を推進します。また、近年増加傾向にある自動車専用道路の逆走防止対策を推進します。



⑤無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。



【平成29年度　主な道路事業箇所】

広域分散型の地域構造を支える交通ネットワークの形成	
北海道横断自動車道網走線 （十勝オホーツク自動車道）	[足寄～北見]（高規格幹線道路の整備推進） 【平成29年度部分開通予定】
旭川・紋別自動車道	[丸瀬布遠軽道路]（高規格幹線道路の整備推進）
国道333号	[生田原道路]（地域高規格道路の整備推進）
道路の防災対策	
国道238号	[紋別防雪]（吹雪対策整備推進）
国道334号	[真鯉道路]（防災事業の整備推進）
交通安全対策の推進	
国道39号　ほか	交差点改良 国道238号 紋別市大山（平成29年度新規事業化） 国道238号 紋別市落石（平成29年度新規事業化） 国道240号 津別町本町（平成29年度新規事業化） 視距改良 国道240号 津別町相生（平成29年度新規事業化） 国道273号 滝上第5区（平成29年度新規事業化） 国道333号 佐呂間町大成 国道334号 斜里町日の出 路肩改良 国道242号 置戸町北光（平成29年度新規事業化） 国道333号 北見市仁頃 中央帯整備 国道39号 北見市留辺蘂（平成29年度新規事業化）
無電柱化の推進	
国道39号	[北見本町電線共同溝]（電線共同溝の整備推進） （平成29年度新規事業化）

４　港湾整備事業

オホーツク圏は安全で良質な農水産物の供給基地であり、管内港湾は、農水産物の物流など背後地域の生活・産業を支える拠点として、また、沖合、沿岸漁業の基地として重要な役割を担っています。このため、本地域の食料供給力の強化を図るため、その物流拠点としての港湾整備に取り組み、海上輸送の安全性と安定性の向上を図ります。

また、既存ストックの有効活用を図り、豊かで質の高いウォーターフロント空間づくりを進め、世界水準の観光地の形成に貢献します。

【網走港】

［新港地区］

新港地区において、港内の静穏度を向上させ、船舶の安全な利用を確保するため、南防波堤の整備を行います。

新港地区南防波堤整備状況

［川筋地区］

川筋地区において、安全、安心な荷役環境を確保するため、老朽化が著しい水深３ｍ物揚場の改良を行います。

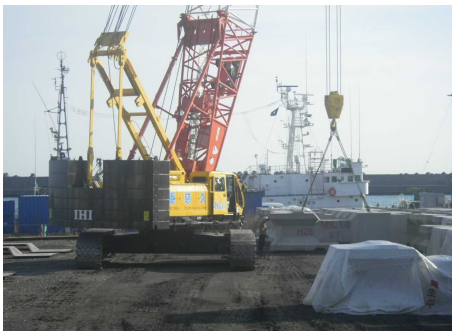
本整備によりプレジャーボート等の小型船が安全に利用され、本施設を含む「みなとオアシス網走」エリアでの交流機能が高まり、地域活性化にも寄与します。

川筋地区水深３ｍ物揚場老朽化状況

【紋別港】

［港町地区］

港町地区において、安全、安心な荷役環境を確保するため、老朽化が著しい水深４ｍ西物揚場の改良を行い、荷役活動の効率化を図ります。



港町地区水深４ｍ西物揚場整備状況

平成２９年度　港湾整備事業の概要

事業区分	港湾名	地区名	事業の概要
港湾改修事業	重要港湾 網走港	新港地区 川筋地区	南防波堤 水深３ｍ物揚場改良
	重要港湾 紋別港	港町地区	水深４ｍ西物揚場改良

５　農業農村整備事業

オホーツク管内は、畑作と酪農を主体とした大規模な土地利用型の農業が展開されています。農業農村整備事業では、北海道の食料供給力を向上させ、農業の持続的発展を図るため、生産基盤の整備を推進します。

１．事業実施地区（継続・新規）

○国営かんがい排水事業

排水機場及び排水路の整備を行い、農地の湛水被害を解消し農業経営の安定化を図るため、「美女地区」（美幌町、大空町）を推進します。

用水路及び排水路の整備を行い、安定的な用水の供給及び農地の湛水被害を解消し農業経営の安定化を図るため、「兵村地区」（湧別町）を推進します。

畑地かんがい施設を整備するとともに、水田の用水改良を行い、農業生産性の向上を図るために、国営かんがい排水事業「網走川中央地区」（美幌町、大空町）に着手します。

整備された農業用排水機場

○国営施設機能保全事業

基幹的な排水施設の機能を保全するための整備により施設の長寿命化を図るとともに、施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図るため、「宇遠別川地区」(斜里町、清里町)を推進します。

○国営農地再編整備事業

大区画化等の基盤整備を実施し、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化の推進のため、「津別地区」(津別町)を推進します。

区画整理工事中の津別地区

○国営緊急農地再編整備事業

大区画化等の基盤整備を実施し、耕作放棄地の解消・発生防止と担い手への農地集積・集約化による優良農地の確保を図るため、「雄武丘陵地区」(雄武町)を推進します。

○国営施設応急対策事業

用水路の機能を保全するための整備を行うことにより農業用水の安定供給及び施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図るため、「西網走地区」（網走市）を推進します。

排水路の機能を保全するための整備により排水機能の確保及び施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図るため、国営施設応急対策事業「八十士地区」（紋別市）に着手します。

管内の農業水利施設（緑ダム）

２．調査計画地区

畑地かんがい施設の整備を行い、農業生産性の向上を図るために、国営土地改良事業調査「北見二期地区」（北見市）の調査を実施します。

６　水産基盤整備事業

オホーツク管内の第４種漁港は、オホーツク海を漁場とする沖合・沿岸漁業の生産・流通拠点及び避難拠点として重要な役割を担っています。

このことを踏まえ、平成２９年度は、「国産水産物の衛生管理や安定供給のための基盤強化対策」、「災害に強い漁業地域づくりのための漁港施設の防災・減災対策」を重点的に推進します。

【サロマ湖地区】

サロマ湖のホタテガイ漁業を支える湖口航路として、漁船の安全な航行を確保するため、航路などの整備を推進します。

サロマ湖地区航路浚渫状況

【元稲府地区】

漁業活動の安全を確保するための防波堤の整備を推進します。

元稲府漁港北防波堤ブロック製作状況

【北海道第３種及び第４種漁港地区】

ウトロ漁港、能取漁港及びサロマ湖漁港の長寿命化を図るため、防波堤などの補修・調査を行います。

平成２９年度　水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	サロマ湖地区 （第４種サロマ湖漁港）	【第２湖口工区】 外郭施設：護岸（航路西） 水域施設：水深４．５ｍ航路
	元稲府地区 （第４種元稲府漁港）	外郭施設：北防波堤
	北海道第３種 及び第４種漁港地区	【ウトロ漁港ウトロ工区】 輸送施設：道路（補修） 【能取漁港湖口工区】 外郭施設：防波堤（防氷）（補修） 【能取漁港能取工区、卯原内工区】 係留施設：水深２ｍ物揚場（補修） 【サロマ湖漁港第１湖口工区】 外郭施設：防波堤（防氷）（補修）